

いのちの輝き見守りプラン

あすへと繋ぐ

見守り広げ

いのち輝く

かさぎ・わづか・みなみやましろ



令和2年3月

笠置町・和束町・南山城村

目次

第1章 計画策定の趣旨	1
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 計画の位置づけ	2
(3) 計画の期間	2
(4) 計画の推進体制	2
第2章 自殺に係る地域の現状	3
(1) 各種データからみえる現状	3
(2) アンケートからみえる現状	10
第3章 基本理念・数値目標・基本方針	19
(1) 基本理念	19
(2) 数値目標	19
(3) 基本方針	20
1 地域における連携・ネットワークの強化	20
2 相談体制の充実と人材の育成	20
3 住民に対する啓発・周知と情報提供	20
4 生きることの促進要因への支援	20
第4章 具体的な取組内容 笠置町編	21
第5章 具体的な取組内容 和束町編	25
第6章 具体的な取組内容 南山城村編	29
資料編	33
笠置町・和束町・南山城村自殺対策計画策定委員会委員名簿	33

第1章 計画策定の趣旨

(1) 計画策定の趣旨

我が国の自殺者数は、平成10年に急増し、以降毎年3万人を超えるという深刻な状況でした。

こういった状況を受け、国は平成18年に自殺対策基本法を制定し、総合的な自殺対策を講じました。それにより、これまで「個人の問題」とされてきた自殺が「社会の問題」として広く認識されるようになり、平成21年以降自殺者数は減少傾向となっています。

しかしながら、自殺者数は依然として毎年2万人を超えており、自殺死亡率（人口10万人に対する自殺者数）についても、世界の主要先進7カ国の中で最も高い状態が続いています。

そうした中、自殺対策をさらに総合的かつ効果的に推進するため、平成28年に自殺対策基本法が改正され、すべての都道府県及び市町村が自殺対策計画を策定し、地域ごとの自殺対策のさらなる推進を図ることとされました。

京都府内における自殺者数も、国と同様に平成10年に急増し、年間600人を超える状況ではありましたが、平成25年以降は一貫して減少傾向となっています。しかし、京都府における自殺者数は、現在も300人を超えており、笠置町・和束町・南山城村においても、年によって自殺者が出ている状況です。

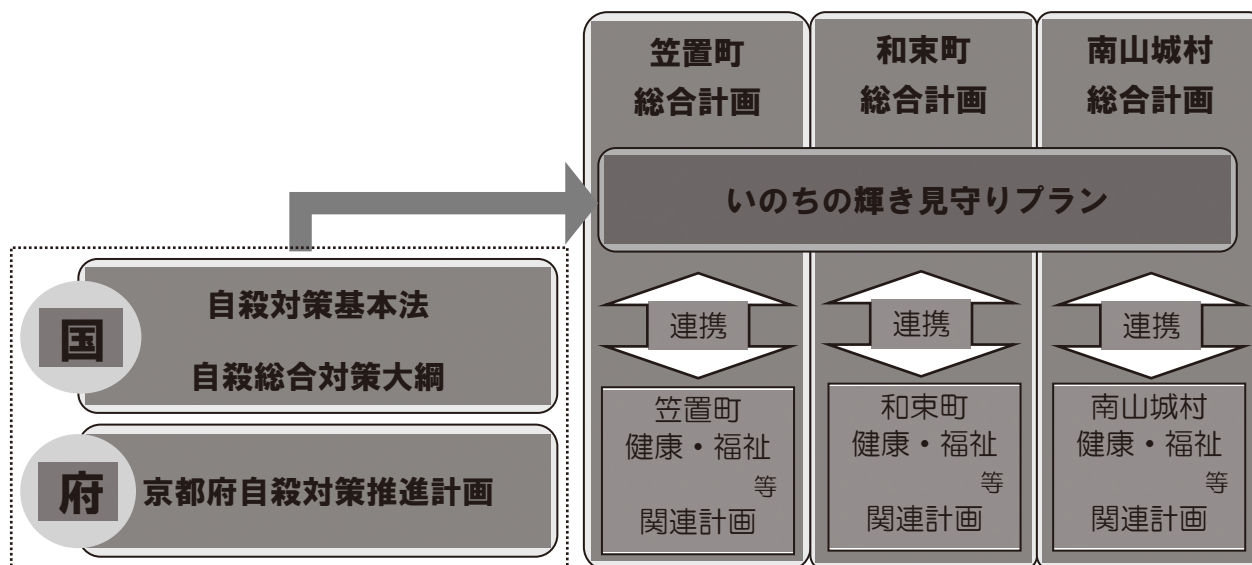
自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、その背景には、精神的な問題だけでなく、様々な社会的要因があるため、その多くは防ぐことのできる問題とされています。

いのちの輝き見守りプランは、笠置町・和束町・南山城村における、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現をめざし、誰もが「生きることの包括的な支援」としての自殺対策に関する必要な支援を受けられるよう、総合的な自殺対策を推進することについて示すことを目的として策定するものです。

(2) 計画の位置づけ

いのちの輝き見守りプラン（以下「本計画」という。）は、自殺対策基本法第13条第2項に定める「市町村地域自殺対策計画」です。

各町村の総合計画を上位計画とし、健康や福祉に関する関連計画とも連携を持ちつつ策定します。また、国の「自殺総合対策大綱」や京都府の「京都府自殺対策推進計画」との整合性を図ります。



(3) 計画の期間

本計画は、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とします。ただし、必要に応じて見直しを行う場合があります。

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
いのちの輝き見守りプラン				

(4) 計画の推進体制

国の示す自殺総合対策大綱が、おおむね5年を目途に見直しとされているため、本計画においても、計画期間の5年間に合わせ見直しを行うこととします。また、国及び京都府の動向も踏まえつつ、計画的な推進を実施します。

計画の内容については住民に対して公表し、取り組み内容に関する周知を行います。



第2章 自殺に係る地域の現状

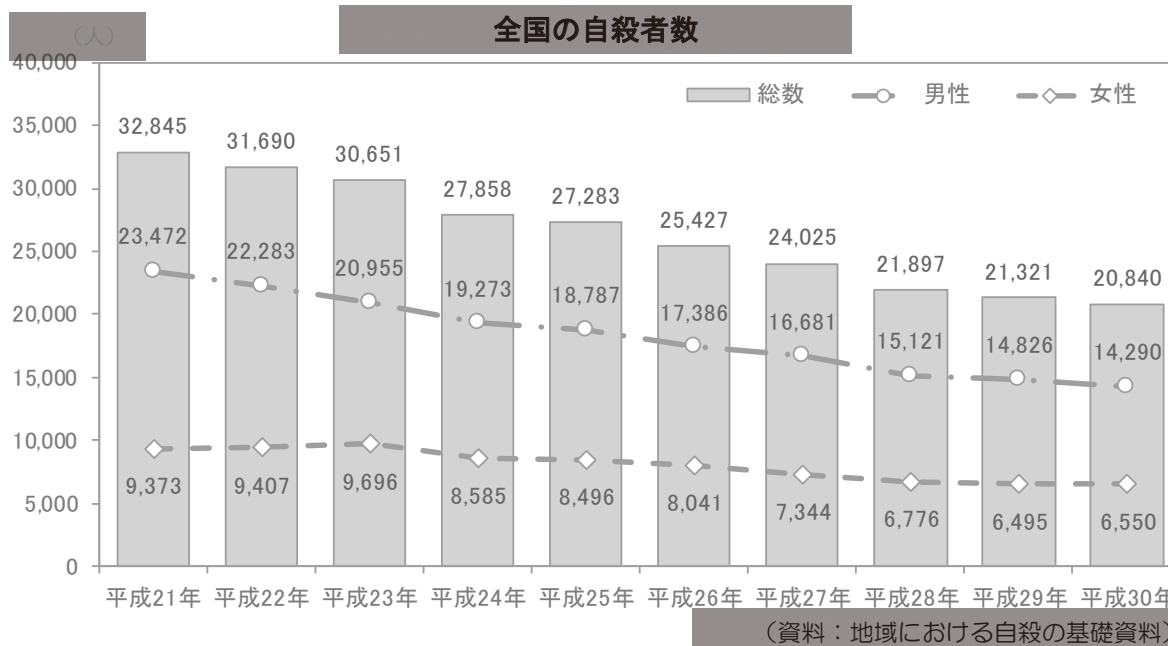
(1) 各種データからみえる現状

① 全国の自殺の状況

■ 自殺者数

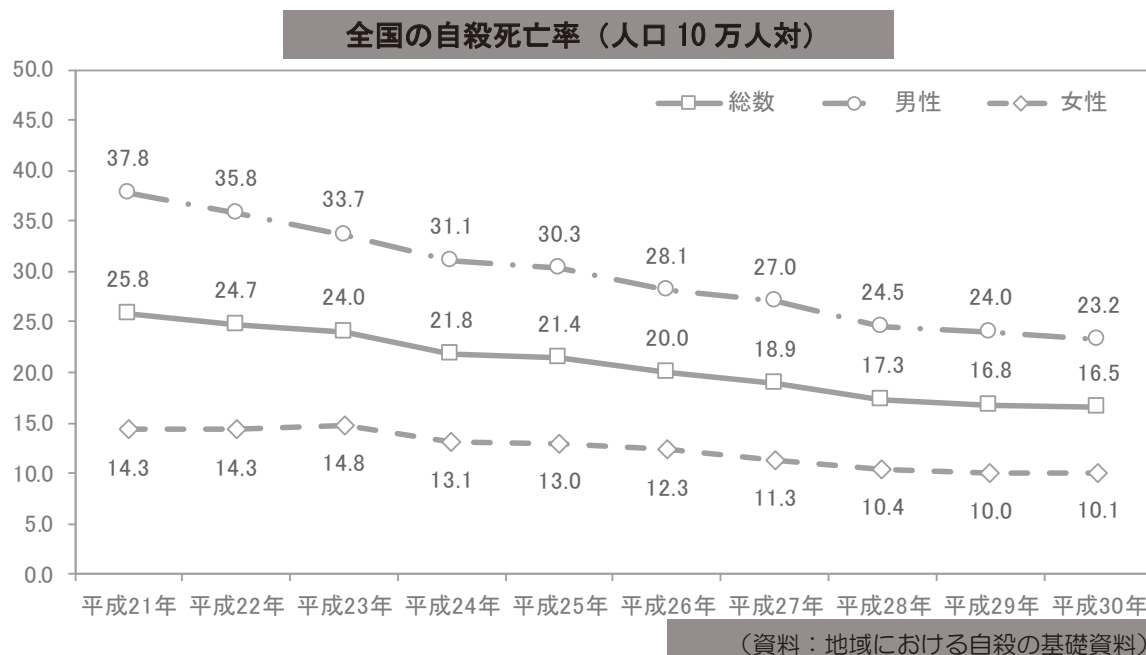
全国の自殺者数は、平成21年以降一貫して減少しています。

また、男性の自殺者数も平成21年以降一貫して減少しており、女性の自殺者数は平成23年以降減少していましたが、平成30年で増加しています。



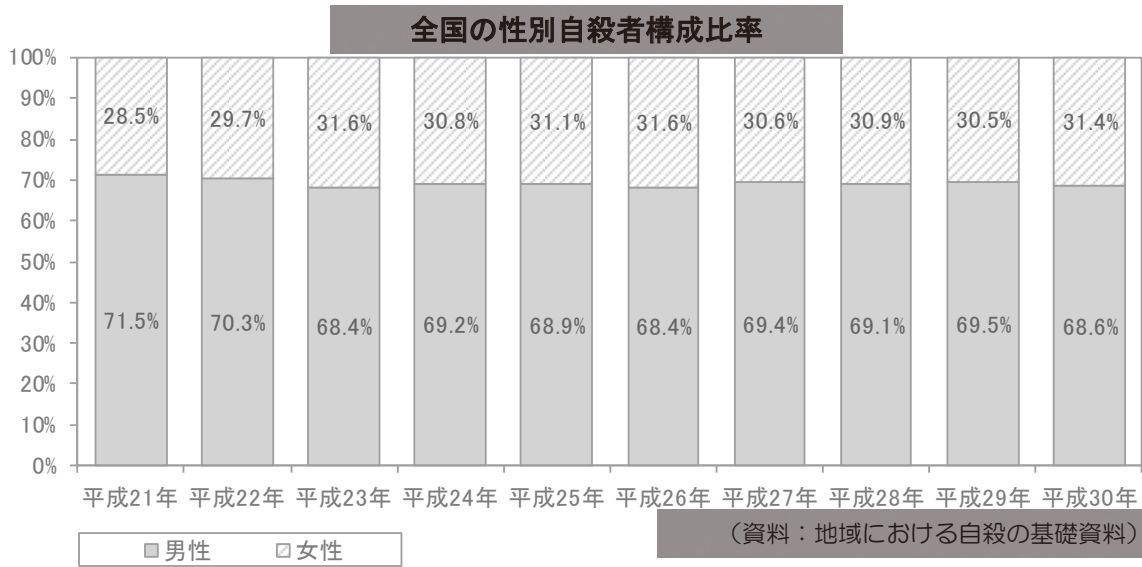
■ 自殺死亡率（人口10万人対）

全国の自殺死亡率（人口10万人に対する自殺者数）は、平成21年以降一貫して減少しており、自殺者数と同様の動きとなっています。



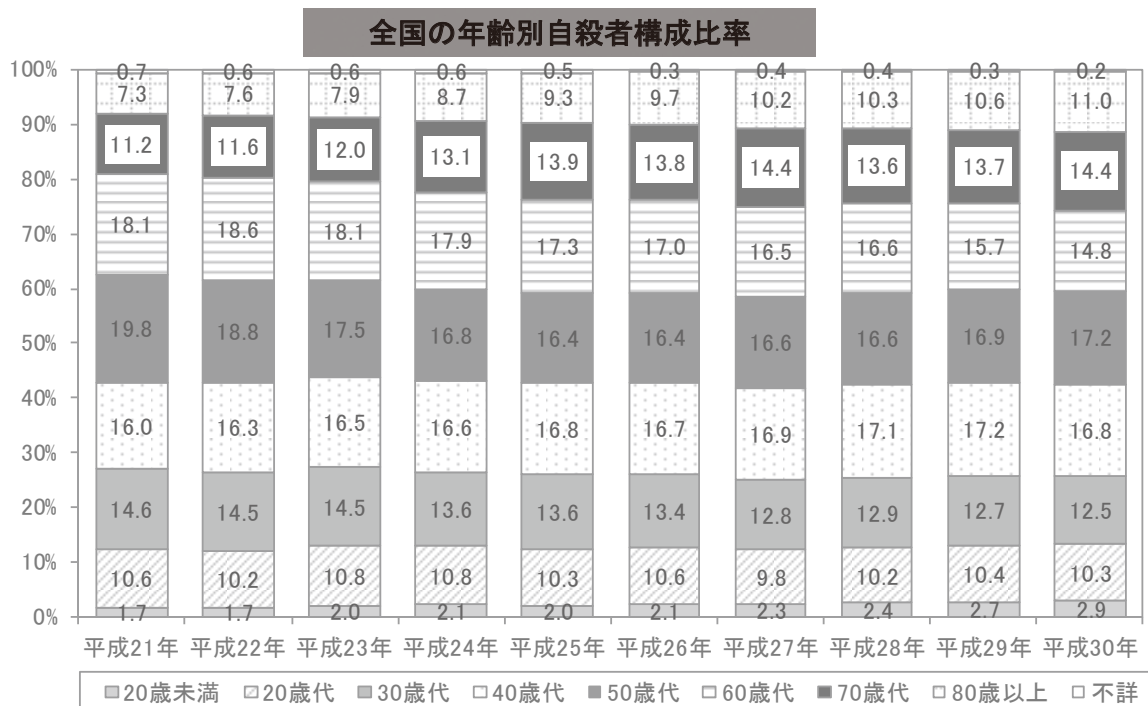
■性別自殺者構成比率

全国の性別自殺者構成比率についてみると、女性に比べて男性が多くなっており、7割程度を占めています。



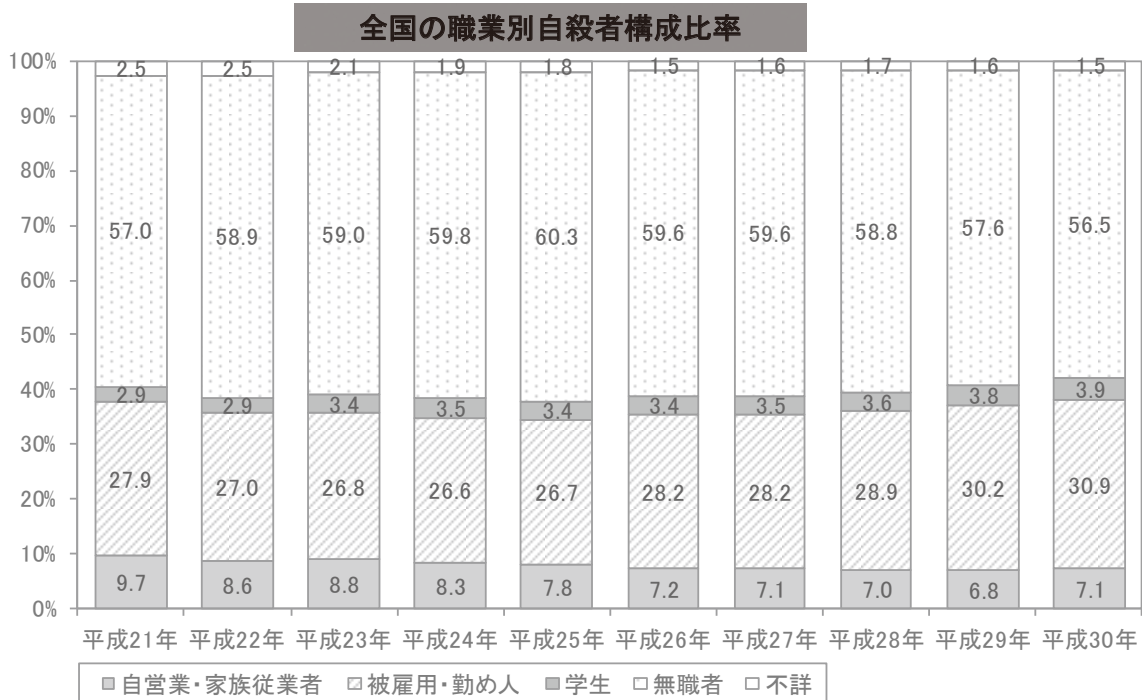
■年齢別自殺者構成比率

全国の年齢別自殺者構成比率についてみると、年によって順は異なりますが、40歳代・50歳代・60歳代が多くなっています。



■職業別自殺者構成比率

全国の職業別自殺者構成比率についてみると、無職者が最も多くなっており、半数以上を占めています。また、無職者の内訳をみると、年金・雇用保険等生活者が多くなっています。



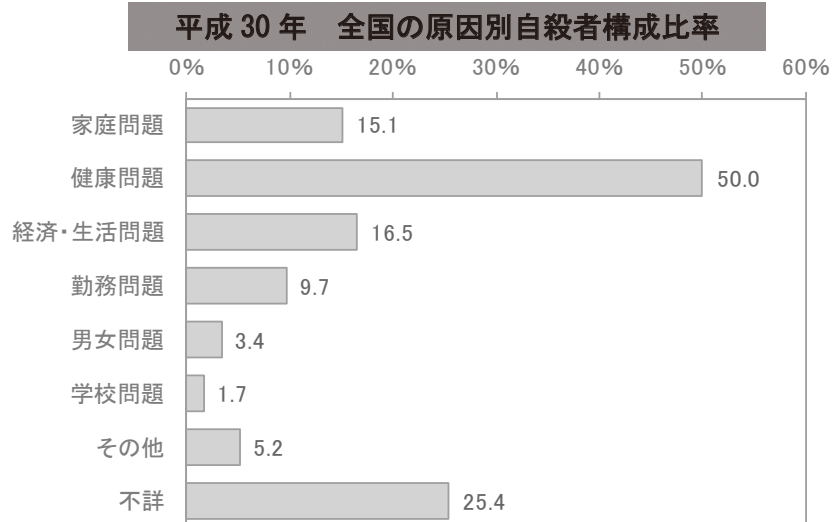
無職者内訳

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
主婦	12.3	12.5	13.1	11.8	11.6	11.1	10.5	10.4	9.9	9.3
失業者	12.5	10.7	10.1	8.4	7.4	6.9	6.7	6.9	5.5	5.8
年金・雇用保険等生活者	32.2	32.5	33.3	37.4	39.8	41.2	43.8	44.1	45.1	46.6
その他の無職者	43.0	44.3	43.4	42.3	41.2	40.8	39.1	38.6	39.5	38.3

(資料：地域における自殺の基礎資料)

■原因別自殺者構成比率

平成30年の全国の原因別自殺者構成比率についてみると、健康問題が最も多くなっています。



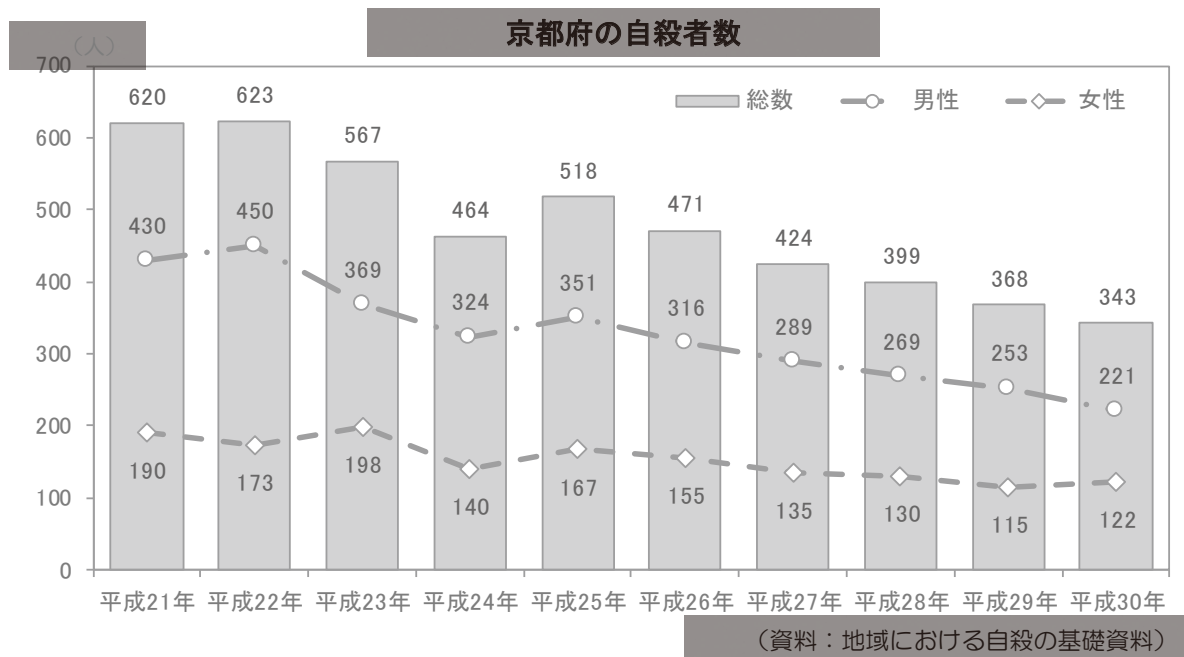
(資料：地域における自殺の基礎資料)

②京都府の自殺の状況

■自殺者数

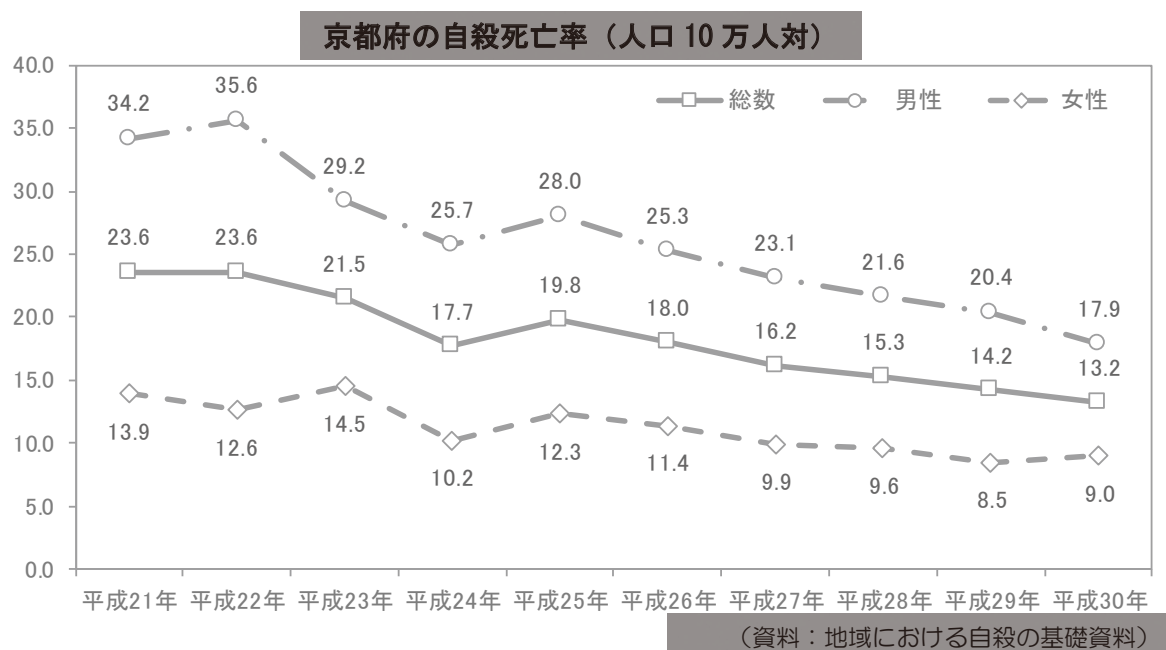
京都府の自殺者数は、平成21年以降増減を繰り返して推移していましたが、平成25年以降は一貫して減少しています。

また、男性の自殺者数、女性の自殺者数ともに、平成25年以降減少していましたが、女性のみ平成30年で増加しています。



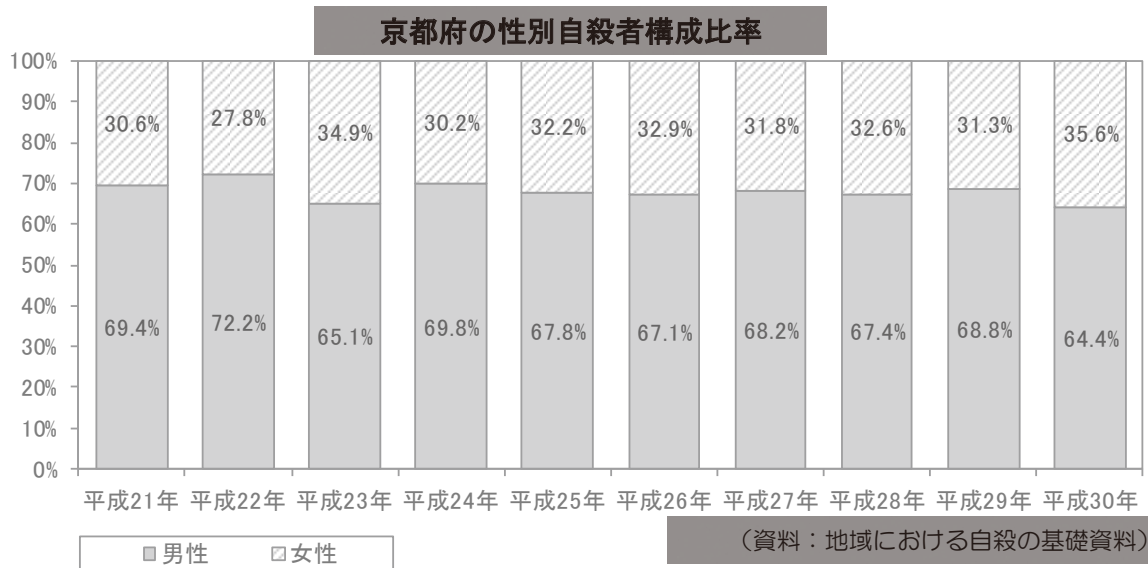
■自殺死亡率（人口10万人対）

京都府の自殺死亡率（人口10万人に対する自殺者数）は平成21年以降増減を繰り返して推移していましたが、平成25年以降は一貫して減少しており、自殺者数と同様の動きとなっています。



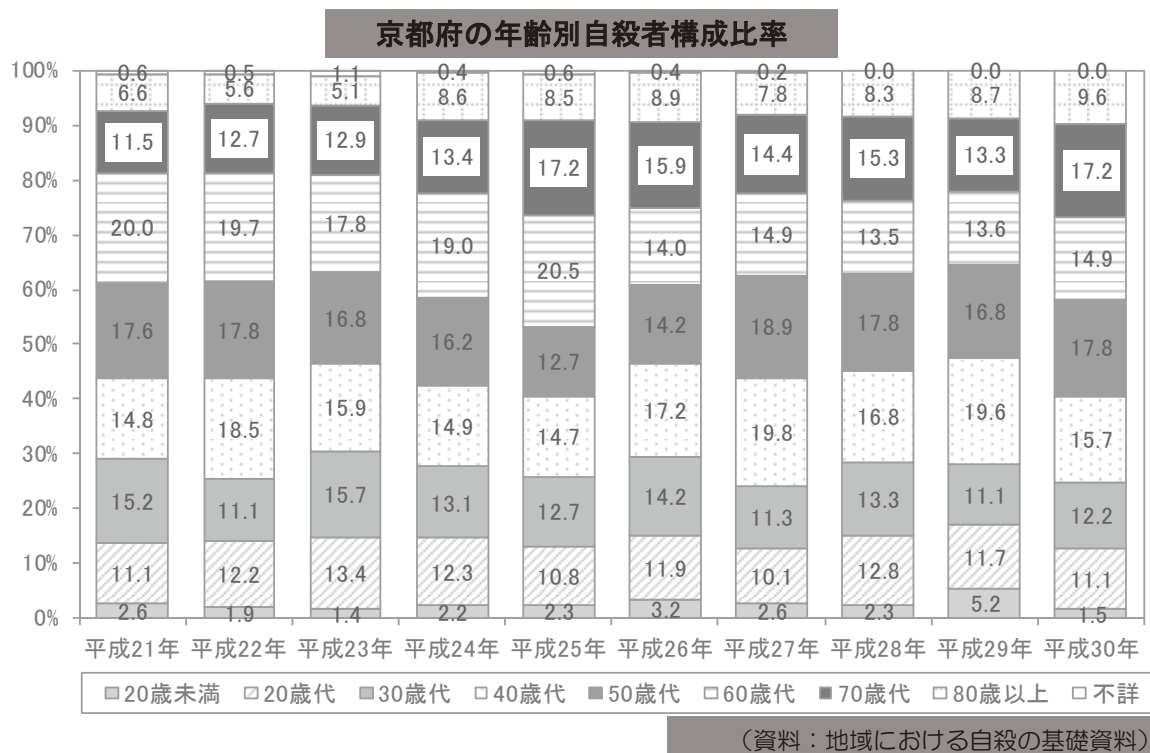
■性別自殺者構成比率

京都府の性別自殺者構成比率についてみると、女性に比べて男性が多くなっています。



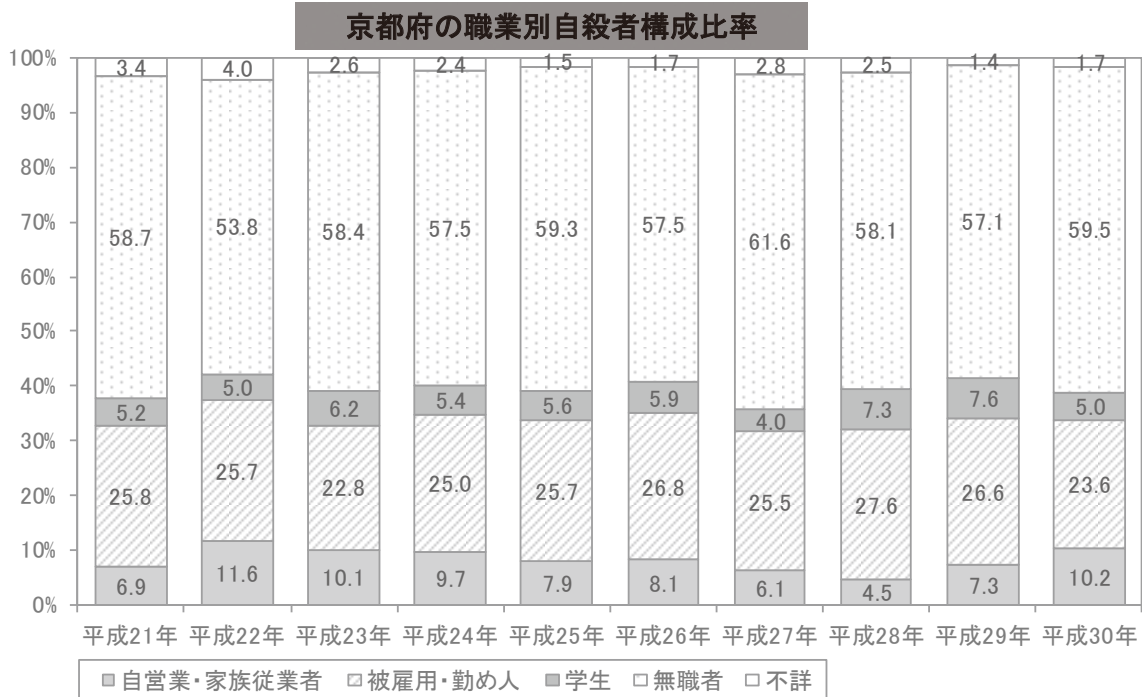
■年齢別自殺者構成比率

京都府の年齢別自殺者構成比率についてみると、平成25年までは60歳代が最も多くなっていましたが、平成26年以降は40歳代または50歳代が最も多くなっています。



■職業別自殺者構成比率

京都府の職業別自殺者構成比率についてみると、無職者が最も多くなっており、半数以上を占めています。また、無職者の内訳をみると年金・雇用保険等生活者が多くなっています。



無職者内訳

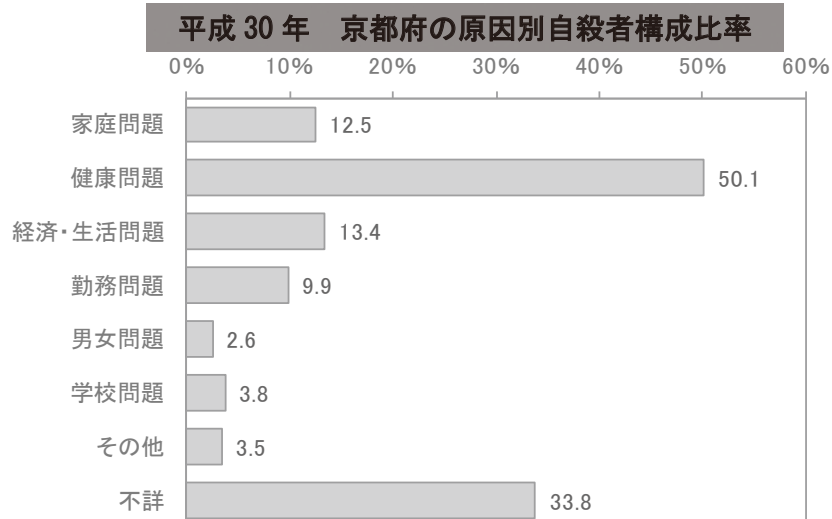
(%)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
主婦	12.4	11.3	12.1	12.4	13.4	13.7	11.5	13.8	8.1	13.2
失業者	14.0	12.5	10.3	7.1	7.8	7.0	6.5	9.9	7.6	5.4
年金・雇用保険等生活者	37.6	43.0	29.9	39.7	33.9	48.7	37.5	44.0	47.6	43.1
その他の無職者	36.0	33.1	47.7	40.8	45.0	30.6	44.4	32.3	36.7	38.2

(資料：地域における自殺の基礎資料)

■原因別自殺者構成比率

平成30年の京都府の原因別自殺者構成比率についてみると、健康問題が最も多くなっています。



(資料：地域における自殺の基礎資料)

③笠置町・和束町・南山城村の自殺の状況

■自殺者数

笠置町・和束町・南山城村での自殺者数についてみると、笠置町では年間0～1人、和束町・南山城村では年間0～3人となっており、各町村0人の年もありますが、年によって数名自殺者がいる状況です。

笠置町・和束町・南山城村の自殺者数

(人)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
笠置町	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0
和束町	2	3	2	0	2	0	0	0	1	1
南山城村	3	0	3	2	2	2	0	0	0	2

(資料：地域における自殺の基礎資料)

■地域自殺実態プロフィールからみる、地域の自殺の特徴

笠置町・和束町・南山城村での自殺の特徴をみると、3町村すべてで「高齢者」が重点パッケージ※として挙げられています。

笠置町・和束町では「生活困窮者」が、和束町・南山城村では「無職者・失業者」についても挙げられており、経済的な部分や就労による要因についても注意すべき部分となっています。

※性、年代等の特性と「背景にあたる主な自殺の危機経路」を参考にし、「地域の自殺の特徴」をもとに、地域自殺実態プロフィールにおいて示されている、特に注意すべき特性

【笠置町】

推奨される重点パッケージ	最も多い特性	
高齢者 生活困窮者	年齢	60歳代
	性別	男性
	職業	無職

【和束町】

推奨される重点パッケージ	最も多い特性	
高齢者 生活困窮者 無職者・失業者	年齢	40歳代
	性別	男性
	職業	無職

【南山城村】

推奨される重点パッケージ	最も多い特性	
高齢者 無職者・失業者 勤務・経営	年齢	40歳代
	性別	女性
	職業	有職（失業者）

(資料：地域自殺実態プロフィール(2019))

(2) アンケートからみえる現状

①アンケート調査の目的

本計画の策定にあたり、住民の皆様のこころの健康に関する実態や意識について伺い、計画策定の基礎資料とするとともに、総合的な自殺対策、支援体制づくりの参考にするために調査を実施しました。

②アンケート調査方法の概要

調査の対象	調査期間	実施方法
笠置町・和束町・南山城村に住む 15歳以上の住民 2,500人無作為抽出	令和元年8月下旬～ 9月17日	郵送での 配布・回収

③配布と回収状況

配布数	回収数	回収率
2,500票	748票	29.9%

④アンケート調査結果の見方

- ◇ 項目ごとにその内容を示すタイトルを付けていますが、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ◇ タイトルの横には、質問形態を記載しています。

単数回答：「1つに○」など選択肢を1つ選ぶ質問形態
複数回答：「あてはまる番号すべてに○」など2つ以上の選択肢を選ぶ質問形態
数量回答：日数や時間、回数などの数値・数量を記入してもらう質問形態
自由記述：文字記述回答

- ◇ 各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示しています。
- ◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- ◇ グラフ・表には、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。また、0%の場合は省略している場合があります。
- ◇ 集計は、小数点以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ◇ クロス集計表は、トップ1項目のセルに で着色しています。
- ◇ 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。

⑤主なアンケート調査結果

身体とこころの健康度（単数回答）

身体、こころともに「健康」「まあまあ健康」が多くなっています。

「健康でない」割合をみると、“こころ”では笠置町・和束町・南山城村それぞれ30・40歳代が最も多くなっています。

笠置町	合計	身体					こころ					
		健康	まあまあ健康	あまり健康でない	健康でない	無回答	健康	まあまあ健康	あまり健康でない	健康でない	無回答	
全体	114 100.0	30 26.3	54 47.4	24 21.1	3 2.6	3 2.6	27 23.7	59 51.8	14 12.3	5 4.4	9 7.9	
性別	男性	43 100.0	14 32.6	13 30.2	13 30.2	2 4.7	1 2.3	10 23.3	22 51.2	7 16.3	0 0.0	4 9.3
	女性	68 100.0	15 22.1	39 57.4	11 16.2	1 1.5	2 2.9	17 25.0	36 52.9	7 10.3	5 7.4	3 4.4
年齢	10・20歳代	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	30・40歳代	14 100.0	4 28.6	7 50.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	3 21.4	8 57.1	0 0.0	3 21.4	0 0.0
	50歳以上	91 100.0	21 23.1	45 49.5	21 23.1	2 2.2	2 2.2	21 23.1	48 52.7	12 13.2	1 1.1	9 9.9

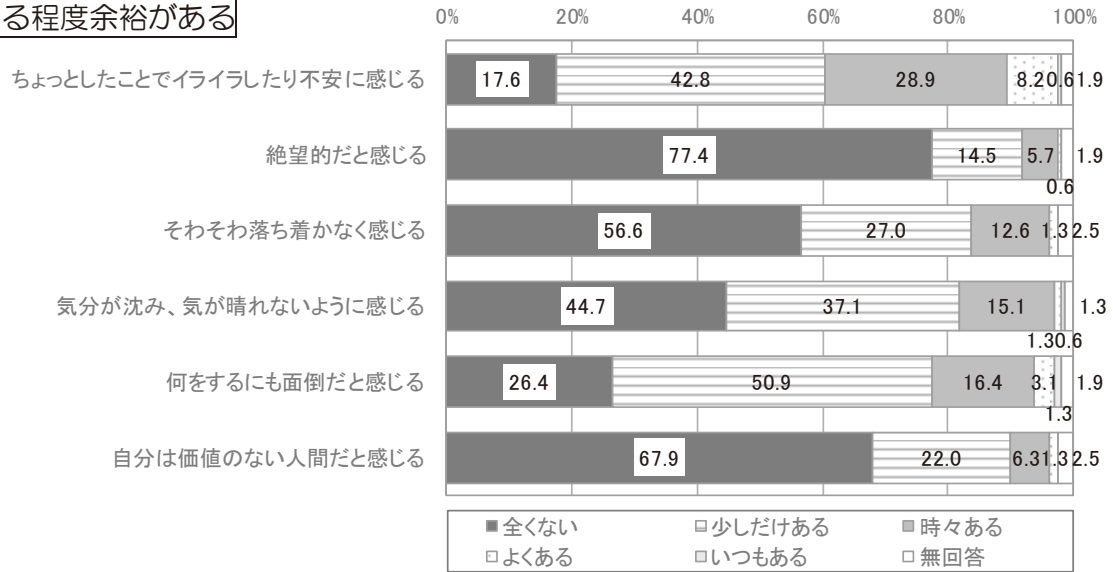
和束町	合計	身体					こころ					
		健康	まあまあ健康	あまり健康でない	健康でない	無回答	健康	まあまあ健康	あまり健康でない	健康でない	無回答	
全体	332 100.0	81 24.4	186 56.0	51 15.4	8 2.4	6 1.8	93 28.0	162 48.8	42 12.7	9 2.7	26 7.8	
性別	男性	141 100.0	36 25.5	76 53.9	19 13.5	6 4.3	4 2.8	44 31.2	68 48.2	13 9.2	4 2.8	12 8.5
	女性	184 100.0	44 23.9	106 57.6	30 16.3	2 1.1	2 1.1	46 25.0	91 49.5	28 15.2	5 2.7	14 7.6
年齢	10・20歳代	12 100.0	4 33.3	6 50.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	4 33.3	5 41.7	2 16.7	0 0.0	1 8.3
	30・40歳代	35 100.0	16 45.7	15 42.9	2 5.7	1 2.9	1 2.9	15 42.9	14 40.0	2 5.7	2 5.7	2 5.7
	50歳以上	283 100.0	61 21.6	163 57.6	47 16.6	7 2.5	5 1.8	73 25.8	143 50.5	38 13.4	7 2.5	22 7.8

南山城村	合計	身体					こころ					
		健康	まあまあ健康	あまり健康でない	健康でない	無回答	健康	まあまあ健康	あまり健康でない	健康でない	無回答	
全体	282 100.0	62 22.0	148 52.5	57 20.2	10 3.5	5 1.8	64 22.7	161 57.1	30 10.6	6 2.1	21 7.4	
性別	男性	108 100.0	20 18.5	57 52.8	23 21.3	8 7.4	0 0.0	28 25.9	54 50.0	15 13.9	3 2.8	8 7.4
	女性	172 100.0	42 24.4	90 52.3	33 19.2	2 1.2	5 2.9	36 20.9	106 61.6	14 8.1	3 1.7	13 7.6
年齢	10・20歳代	16 100.0	7 43.8	7 43.8	2 12.5	0 0.0	0 0.0	5 31.3	8 50.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3
	30・40歳代	41 100.0	13 31.7	16 39.0	9 22.0	1 2.4	2 4.9	7 17.1	25 61.0	5 12.2	1 2.4	3 7.3
	50歳以上	224 100.0	42 18.8	125 55.8	46 20.5	8 3.6	3 1.3	52 23.2	128 57.1	23 10.3	5 2.2	16 7.1

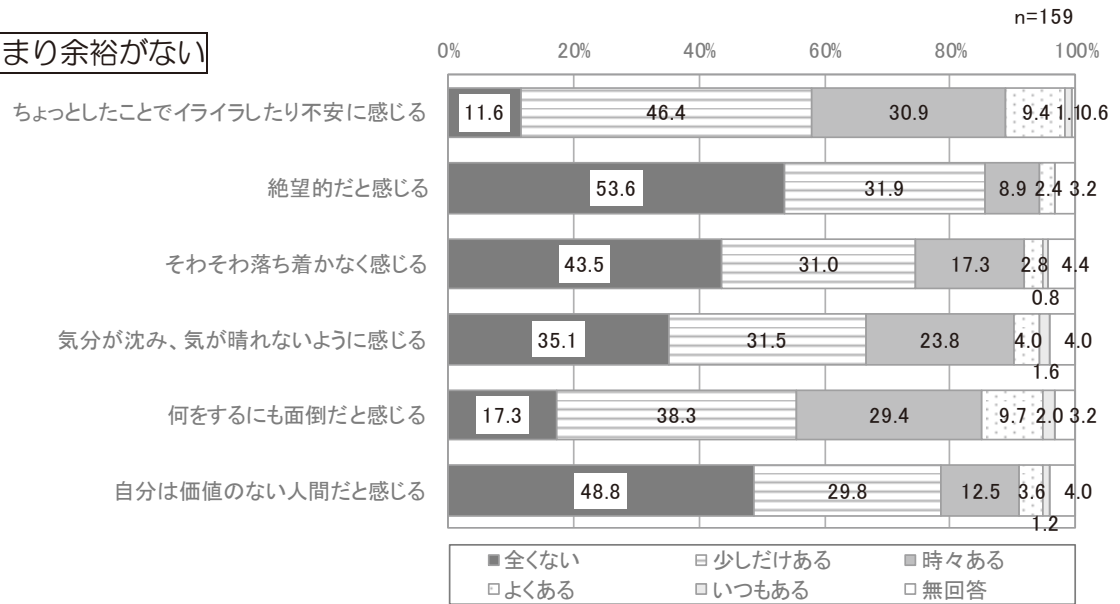
日々の生活の中で感じること～家計の状況との関係～（単数回答）

家計に余裕がない方では、各項目で「全くない」と回答する割合が低くなっています。

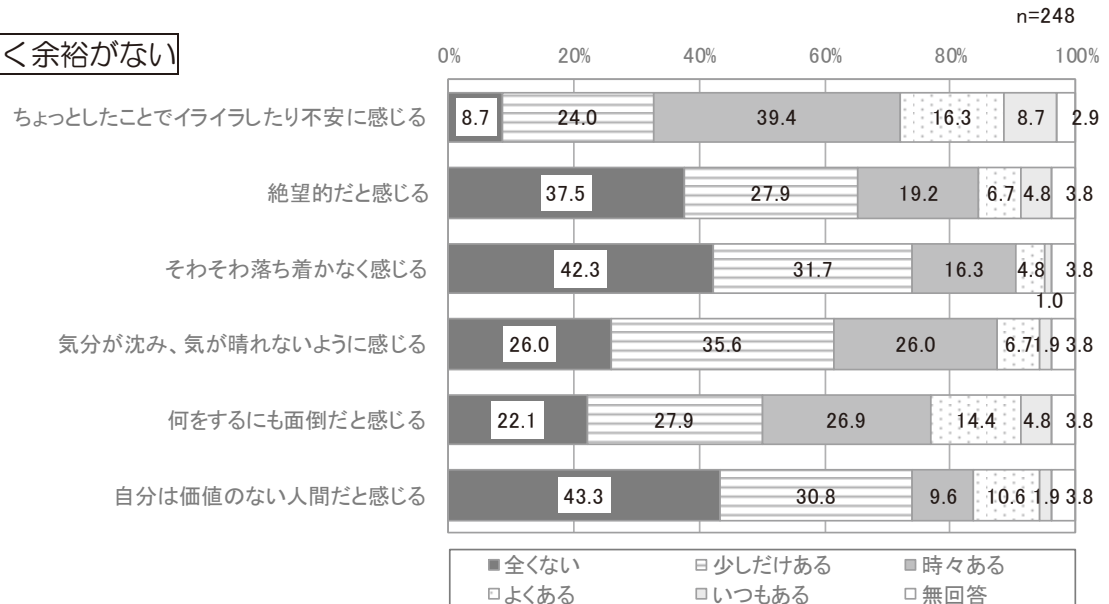
家計に、ある程度余裕がある



家計に、あまり余裕がない



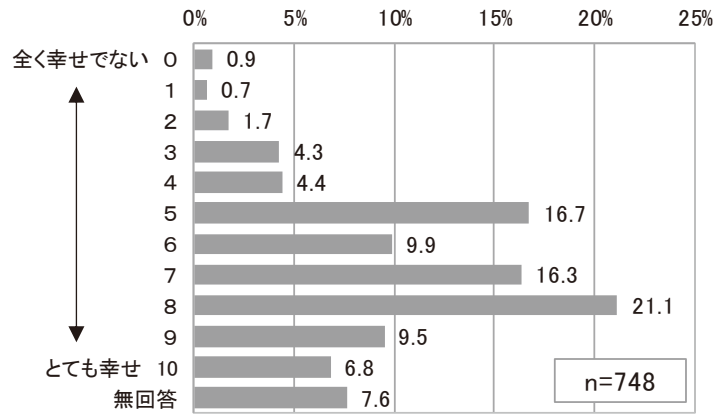
家計に、全く余裕がない



幸福度（数量回答）

笠置町・和束町・南山城村全体として、「8点」が最も割合として高くなっており、幸福度平均点は6.14点となっています。

居住町村ごとにみると、幸福度平均点は、笠置町で6.29点、和束町で6.12点、南山城村で6.22点となっています。



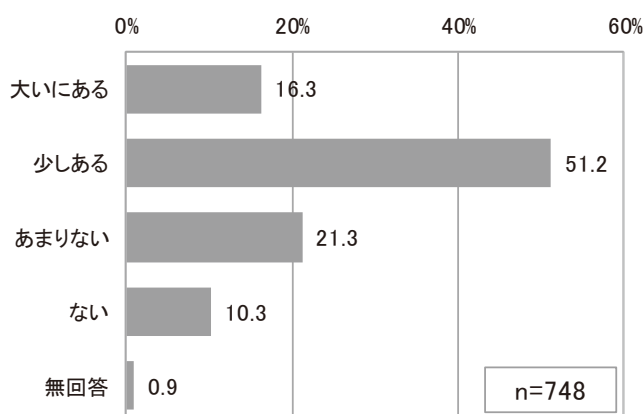
幸福度 平均点			
全体	笠置町	和束町	南山城村
6.14点	6.29点	6.12点	6.22点

年齢別にみると、笠置町では30・40歳代が4.86点と最も低く、和束町では10・20歳代が4.67点と最も低く、南山城村では50歳以上が6.12点と最も低くなっています。

笠置町 幸福度属性別平均点		和束町 幸福度属性別平均点		南山城村 幸福度属性別平均点	
男性	6.60点	男性	6.18点	男性	5.67点
女性	6.21点	女性	6.11点	女性	6.57点
10・20歳代	7.43点	10・20歳代	4.67点	10・20歳代	6.38点
30・40歳代	4.86点	30・40歳代	6.29点	30・40歳代	6.85点
50歳以上	6.47点	50歳以上	6.16点	50歳以上	6.12点

最近の1か月間に日常生活で感じる不安やストレス等の有無（単数回答）

笠置町・和東町・南山城村全体としては、「少しある」が最も割合が高く、半数以上を占めています。



年齢別でみると、「大いにある」と「少しある」を合わせた『ある割合合計』は、年齢が低くなるにつれて、割合が高くなっています。

		合計	大いにある	少しある	あまりない	ない	無回答	ある割合合計
全体		748	122	383	159	77	7	67.5
		100.0	16.3	51.2	21.3	10.3	0.9	
性別	男性	297	38	149	70	38	2	63.0
		100.0	12.8	50.2	23.6	12.8	0.7	
	女性	434	81	226	86	36	5	70.7
		100.0	18.7	52.1	19.8	8.3	1.2	
年齢	10・20歳代	37	8	20	6	2	1	75.7
		100.0	21.6	54.1	16.2	5.4	2.7	
	30・40歳代	93	26	42	20	4	1	73.1
		100.0	28.0	45.2	21.5	4.3	1.1	
	50歳以上	608	85	316	133	69	5	66.0
		100.0	14.0	52.0	21.9	11.3	0.8	
居住町村	笠置町	114	19	60	27	8	0	69.3
		100.0	16.7	52.6	23.7	7.0	0.0	
	和東町	332	46	160	79	45	2	62.0
		100.0	13.9	48.2	23.8	13.6	0.6	
	南山城村	282	52	156	50	21	3	73.8
		100.0	18.4	55.3	17.7	7.4	1.1	

悩みやストレスを感じたときに、相談する先（複数回答）

全体でみると、「家族や親族」が最も割合が高くなっていますが、年齢別でみると和東町と南山城村の10・20歳代では「友人や会社の同僚」の割合が高くなっています。

また、「誰にも相談できない、しないと思う」の割合を性別でみると、女性より男性の方が多くなっています。

笠置町		合計	家族や親族	友人や会社の同僚	インターネット・SNS上だけのつながりの人	学校の先生や会社の上司	近所の人	かかりつけの医療機関の職員	公的な相談機関の職員	民間の相談機関の相談員	同じ悩みを抱える人	行政が主催する各種相談会の専門家	誰にも相談できない、しないと思う	その他	無回答
全体		114 100.0	90 78.9	59 51.8	1 0.9	1 0.9	5 4.4	14 12.3	2 1.8	1 0.9	5 4.4	1 0.9	8 7.0	3 2.6	6 5.3
性別	男性	43 100.0	32 74.4	16 37.2	0 0.0	0 0.0	2 4.7	4 9.3	1 2.3	1 2.3	0 0.0	1 2.3	5 11.6	0 0.0	2 4.7
	女性	68 100.0	56 82.4	43 63.2	1 1.5	1 1.5	3 4.4	10 14.7	1 1.5	0 0.0	5 7.4	0 0.0	3 4.4	3 4.4	3 4.4
年齢	10・20歳代	7 100.0	6 85.7	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30・40歳代	14 100.0	9 64.3	9 64.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	2 14.3	0 0.0	0 0.0
	50歳以上	91 100.0	73 80.2	46 50.5	0 0.0	0 0.0	4 4.4	12 13.2	1 1.1	0 0.0	4 4.4	0 0.0	6 6.6	3 3.3	6 6.6

和東町		合計	家族や親族	友人や会社の同僚	インターネット・SNS上だけのつながりの人	学校の先生や会社の上司	近所の人	かかりつけの医療機関の職員	公的な相談機関の職員	民間の相談機関の相談員	同じ悩みを抱える人	行政が主催する各種相談会の専門家	誰にも相談できない、しないと思う	その他	無回答
全体		332 100.0	216 65.1	125 37.7	3 0.9	2 0.6	18 5.4	29 8.7	11 3.3	2 0.6	13 3.9	3 0.9	39 11.7	14 4.2	20 6.0
性別	男性	141 100.0	87 61.7	40 28.4	1 0.7	0 0.0	5 3.5	12 8.5	5 3.5	1 0.7	1 0.7	2 1.4	27 19.1	9 6.4	7 5.0
	女性	184 100.0	124 67.4	83 45.1	2 1.1	2 1.1	13 7.1	16 8.7	6 3.3	1 0.5	11 6.0	1 0.5	12 6.5	5 2.7	12 6.5
年齢	10・20歳代	12 100.0	6 50.0	8 66.7	1 8.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3
	30・40歳代	35 100.0	28 80.0	24 68.6	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	2 5.7	1 2.9	1 2.9
	50歳以上	283 100.0	180 63.6	91 32.2	1 0.4	1 0.4	18 6.4	28 9.9	10 3.5	1 0.4	10 3.5	2 0.7	36 12.7	12 4.2	18 6.4

南山城村		合計	家族や親族	友人や会社の同僚	インターネット・SNS上だけのつながりの人	学校の先生や会社の上司	近所の人	かかりつけの医療機関の職員	公的な相談機関の職員	民間の相談機関の相談員	同じ悩みを抱える人	行政が主催する各種相談会の専門家	誰にも相談できない、しないと思う	その他	無回答
全体		282 100.0	198 70.2	125 44.3	4 1.4	5 1.8	14 5.0	34 12.1	11 3.9	0 0.0	20 7.1	5 1.8	25 8.9	10 3.5	10 3.5
性別	男性	108 100.0	66 61.1	27 25.0	1 0.9	1 0.9	4 3.7	16 14.8	8 7.4	0 0.0	5 4.6	4 3.7	20 18.5	5 4.6	6 5.6
	女性	172 100.0	130 75.6	98 57.0	3 1.7	4 2.3	9 5.2	18 10.5	3 1.7	0 0.0	15 8.7	1 0.6	5 2.9	5 2.9	4 2.3
年齢	10・20歳代	16 100.0	10 62.5	11 68.8	3 18.8	1 6.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 18.8	1 6.3	0 0.0
	30・40歳代	41 100.0	28 68.3	25 61.0	1 2.4	1 2.4	2 4.9	1 2.4	0 0.0	0 0.0	2 4.9	0 0.0	4 9.8	1 2.4	0 0.0
	50歳以上	224 100.0	160 71.4	89 39.7	0 0.0	3 1.3	12 5.4	32 14.3	11 4.9	0 0.0	18 8.0	5 2.2	17 7.6	8 3.6	10 4.5

地域で必要と思う自殺対策（複数回答）

「地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い、孤立防止対策」が各町村で割合が高くなっています。

		合計	自殺の実態を明らかにする調査・分析	ゲートキーパーの養成	地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い、孤立防止対策	様々な悩みに対応した相談窓口に関する情報提供	危険な場所、薬品・情報等の規制	自殺未遂者への支援	自殺対策に関する民間団体への支援	自殺対策に関する広報・啓発	職場におけるメンタルヘルス対策の推進	児童・生徒の自殺予防対策の推進	精神科等の医療機関に関する情報提供	個人情報保護を強化した相談や治療の実施	自死遺族等への支援	その他	無回答
笠置町																	
全体		114 100.0	17 14.9	19 16.7	63 55.3	33 28.9	6 5.3	6 5.3	2 1.8	9 7.9	18 15.8	22 19.3	20 17.5	20 17.5	6 5.3	3 2.6	25 21.9
性別	男性	43 100.0	8 18.6	7 16.3	24 55.8	13 30.2	1 2.3	1 2.3	1 2.3	3 7.0	6 14.0	10 23.3	6 14.0	9 20.9	2 4.7	1 2.3	7 16.3
	女性	68 100.0	9 13.2	12 17.6	37 54.4	20 29.4	5 7.4	5 7.4	1 1.5	6 8.8	12 17.6	12 17.6	14 20.6	10 14.7	4 5.9	2 2.9	17 25.0
年齢	10・20歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6
	30・40歳代	14 100.0	3 21.4	1 7.1	7 50.0	3 21.4	1 7.1	1 7.1	1 7.1	2 14.3	3 21.4	2 14.3	4 28.6	3 21.4	1 7.1	1 7.1	3 21.4
	50歳以上	91 100.0	13 14.3	17 18.7	53 58.2	27 29.7	5 5.5	5 5.5	1 1.1	7 7.7	15 16.5	17 18.7	15 16.5	16 17.6	4 4.4	1 1.1	19 20.9

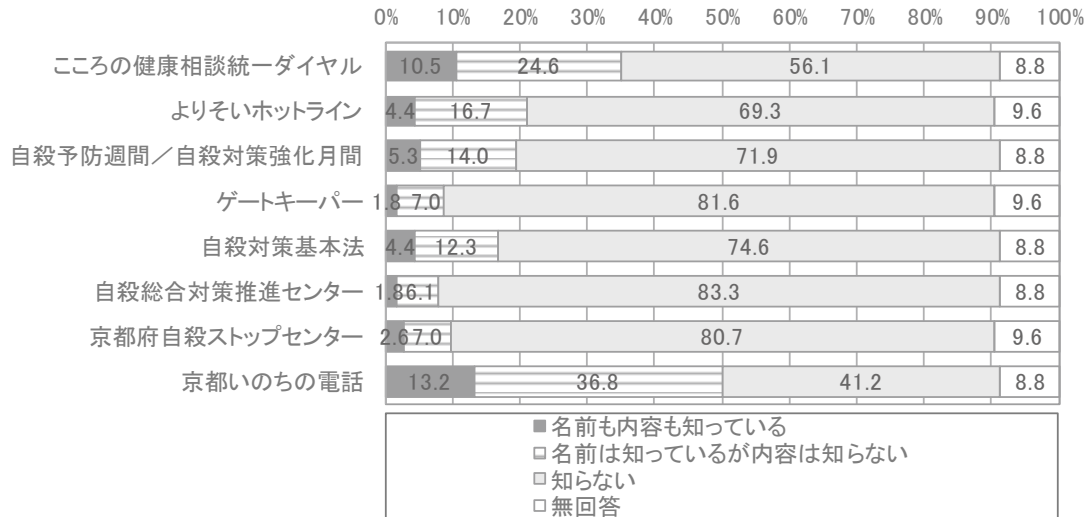
		合計	自殺の実態を明らかにする調査・分析	ゲートキーパーの養成	地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い、孤立防止対策	様々な悩みに対応した相談窓口に関する情報提供	危険な場所、薬品・情報等の規制	自殺未遂者への支援	自殺対策に関する民間団体への支援	自殺対策に関する広報・啓発	職場におけるメンタルヘルス対策の推進	児童・生徒の自殺予防対策の推進	精神科等の医療機関に関する情報提供	個人情報保護を強化した相談や治療の実施	自死遺族等への支援	その他	無回答
和東町																	
全体		332 100.0	49 14.8	50 15.1	127 38.3	107 32.2	19 5.7	33 9.9	16 4.8	40 12.0	39 11.7	83 25.0	50 15.1	61 18.4	21 6.3	10 3.0	77 23.2
性別	男性	141 100.0	27 19.1	17 12.1	51 36.2	44 31.2	5 3.5	19 13.5	10 7.1	14 9.9	16 11.3	37 26.2	18 12.8	18 12.8	8 5.7	7 5.0	31 22.0
	女性	184 100.0	21 11.4	32 17.4	72 39.1	61 33.2	13 7.1	13 7.1	6 3.3	25 13.6	22 12.0	44 23.9	29 15.8	42 22.8	12 6.5	3 1.6	43 23.4
年齢	10・20歳代	12 100.0	1 8.3	3 25.0	4 33.3	7 58.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	4 33.3	3 25.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	2 16.7
	30・40歳代	35 100.0	3 8.6	9 25.7	17 48.6	12 34.3	0 0.0	4 11.4	2 5.7	3 8.6	5 14.3	12 34.3	7 20.0	6 17.1	4 11.4	2 5.7	2 5.7
	50歳以上	283 100.0	43 15.2	37 13.1	105 37.1	86 30.4	18 6.4	25 8.8	13 4.6	33 11.7	30 10.6	64 22.6	39 13.8	52 18.4	14 4.9	7 2.5	73 25.8

		合計	自殺の実態を明らかにする調査・分析	ゲートキーパーの養成	地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い、孤立防止対策	様々な悩みに対応した相談窓口に関する情報提供	危険な場所、薬品・情報等の規制	自殺未遂者への支援	自殺対策に関する民間団体への支援	自殺対策に関する広報・啓発	職場におけるメンタルヘルス対策の推進	児童・生徒の自殺予防対策の推進	精神科等の医療機関に関する情報提供	個人情報保護を強化した相談や治療の実施	自死遺族等への支援	その他	無回答
南山城村																	
全体		282 100.0	41 14.5	59 20.9	133 47.2	87 30.9	20 7.1	35 12.4	23 8.2	38 13.5	58 20.6	85 30.1	52 18.4	73 25.9	30 10.6	13 4.6	42 14.9
性別	男性	108 100.0	16 14.8	16 14.8	52 48.1	35 32.4	6 5.6	14 13.0	13 12.0	19 17.6	23 21.3	31 28.7	25 23.1	21 19.4	8 7.4	4 3.7	17 15.7
	女性	172 100.0	25 14.5	43 25.0	81 47.1	52 30.2	14 8.1	21 12.2	10 5.8	19 11.0	35 20.3	54 31.4	27 15.7	52 30.2	22 12.8	9 5.2	23 13.4
年齢	10・20歳代	16 100.0	3 18.8	4 25.0	5 31.3	4 25.0	1 6.3	2 12.5	1 6.3	2 12.5	3 18.8	4 25.0	2 12.5	6 37.5	2 12.5	3 18.8	1 6.3
	30・40歳代	41 100.0	6 14.6	12 29.3	20 48.8	15 36.6	6 14.6	10 24.4	5 12.2	6 14.6	17 41.5	17 41.5	7 17.1	10 24.4	8 19.5	2 4.9	1 2.4
	50歳以上	224 100.0	32 14.3	43 19.2	108 48.2	68 30.4	13 5.8	23 10.3	16 7.1	29 12.9	38 17.0	64 28.6	43 19.2	57 25.4	20 8.9	8 3.6	40 17.9

自殺対策の認知度（単数回答）

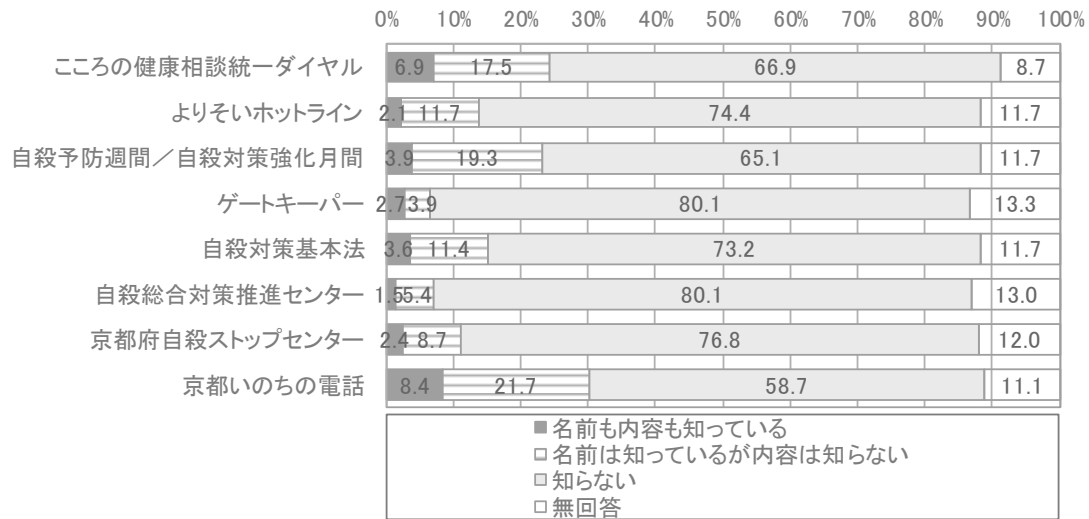
「京都いのちの電話」以外のすべての項目で、半数以上が「知らない」と回答しています。特に、「ゲートキーパー」と「自殺総合対策推進センター」に関して「知っている」割合が低くなっています。

笠置町



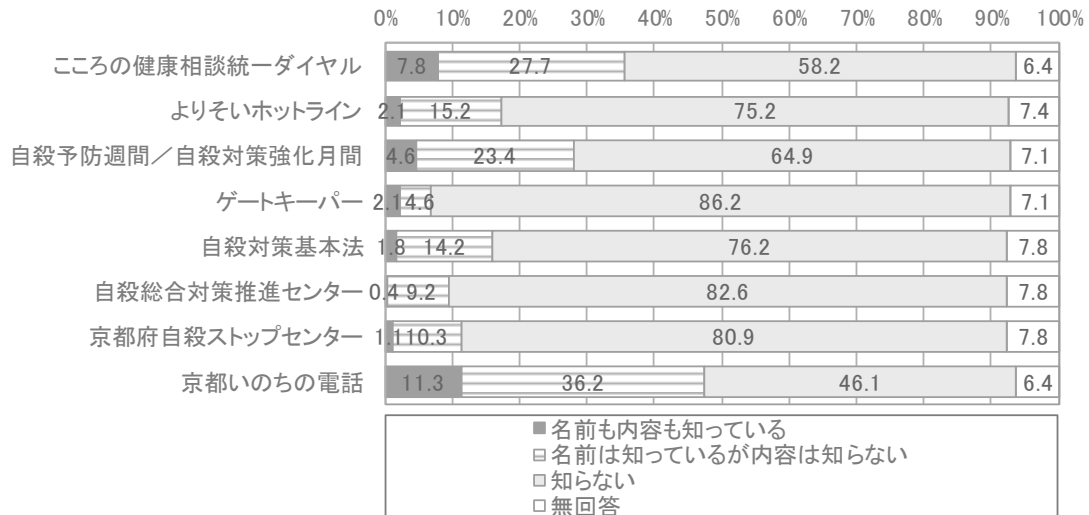
n=114

和束町



n=332

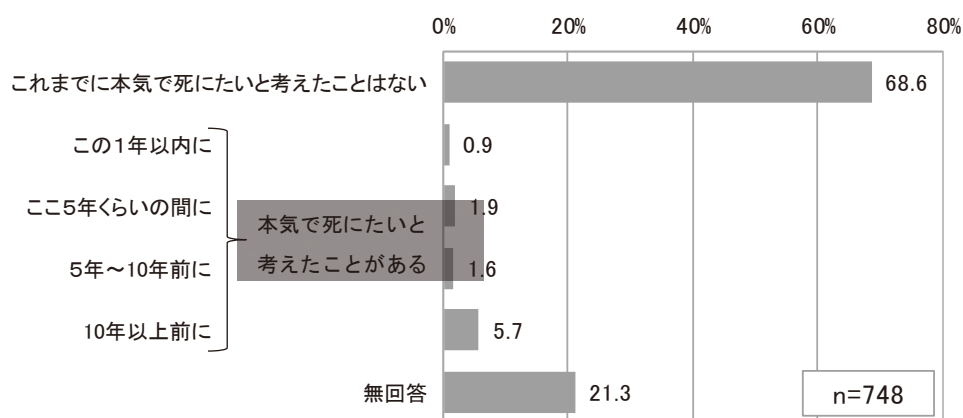
南山城村



n=282

本気で死にたいと考えた経験の有無（単数回答）

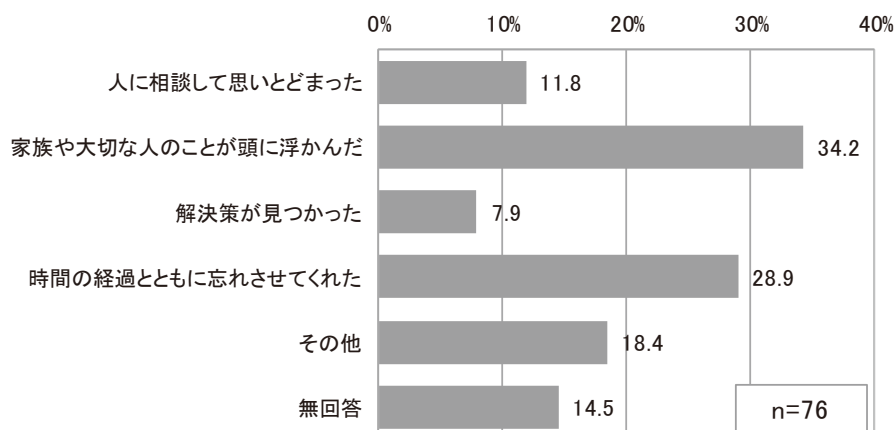
「これまでに本気で死にたいと考えたことはない」が、最も割合として高くなっていますが、「本気で死にたいと考えたことがある」も1割程度となっています。



	合計	これまで に本気で 死にたい と考えた ことはな い	この1年 以内に本 気で死に たいと考 えたこと がある	ここ5年 くらいの 間に本気 で死にた いと考え たことが ある	5年～10 年前に本 気で死に たいと考 えたこと がある	10年以上 前に本気 で死にた いと考え たことが ある	無回答	
全体	748 100.0	513 68.6	7 0.9	14 1.9	12 1.6	43 5.7	159 21.3	
性別	男性	297 100.0	212 71.4	3 1.0	6 2.0	5 1.7	19 6.4	52 17.5
	女性	434 100.0	294 67.7	4 0.9	8 1.8	7 1.6	22 5.1	99 22.8
年齢	10・20歳代	37 100.0	23 62.2	1 2.7	5 13.5	3 8.1	1 2.7	4 10.8
	30・40歳代	93 100.0	67 72.0	1 1.1	2 2.2	2 2.2	8 8.6	13 14.0
	50歳以上	608 100.0	417 68.6	5 0.8	7 1.2	7 1.2	32 5.3	140 23.0

死にたいという考えを思いとどまった理由（複数回答）【本気で死にたいと考えたことがある方限定】

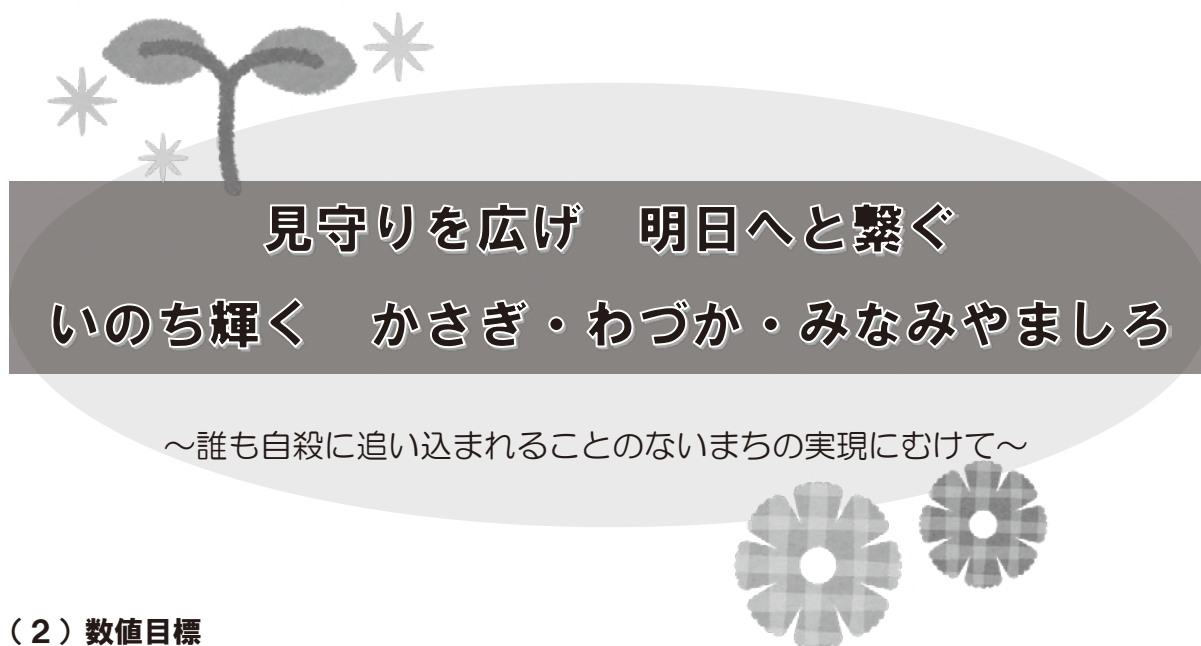
「家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」が、最も割合が高くなっています。



第3章 基本理念・数値目標・基本方針

(1) 基本理念

笠置町・和束町・南山城村では、国の「自殺総合対策大綱」の基本理念である「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざすこと」を受け、「地域の方それぞれが共に支えあい、互いを大切にしながら安心して暮らせる地域となること」また、「誰もが自分らしく生き生きと生活していくこと」をめざし、下記の理念のもと地域の自殺対策としての取り組みを進めます。



見守りを広げ 明日へと繋ぐ

いのち輝く かさぎ・わづか・みなみやましる

～誰も自殺に追い込まれることのないまちの実現にむけて～

(2) 数値目標

国では、令和8年までに自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）を先進諸国の現在の水準まで減少することをめざし、平成27年比30%減少させることを目標としています。

それを踏まえ、笠置町・和束町・南山城村においても、自殺死亡率を30%減少させることをめざし、本計画の数値目標として設定します。

数値目標		平成26年～ 平成30年平均	令和元年～ 令和5年平均
自殺死亡率	笠置町	13.5	9.5
	和束町	9.4	6.6
	南山城村	26.8	18.8

※参考

平成30年自殺死亡率	
全国	16.5
京都府	13.2

(3) 基本方針

笠置町・和束町・南山城村では、基本理念の実現に向けて、次の4つの基本方針に沿って各町村における取り組みを進めます。

1 地域における連携・ネットワークの強化

自殺対策の推進のためには、関係機関、関係団体、企業、住民等が連携・協働することが重要であり、こういったネットワークの強化は、自殺対策としての基盤となる部分でもあります。

関係機関・団体がそれぞれの役割に応じた自殺対策を推進していくため、各町村における連携体制・ネットワークの強化を図るとともに、笠置町・和束町・南山城村での連携も図ります。

2 相談体制の充実と人材の育成

自殺の多くは、家庭や学校、職場での問題、健康上の問題など様々な要因が関係しており、そういった様々な悩みや困難を抱える人に対して、相談体制を整えることは大変重要です。

また、そういった様々な悩みや困難を抱える人に対しては、早期の「気づき」を行うことも重要であり、ゲートキーパー[※]等の「気づき」ができる人材を増やし、誰もが身近な支援者となれる地域づくりを進めます。

※ゲートキーパー：悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、支援する人のこと。

3 住民に対する啓発・周知と情報提供

自殺に追い込まれるという危機は「誰にでも起こり得る危機」であるため、身近にいるかもしれない、助けを求める人の存在に気づき、声をかけ、話を聞き、見守っていくという、一人ひとりができる役割について、住民の意識が共有されることは重要です。

また、もし自身がそういった危機に陥った場合は、自ら誰かに援助を求めることが適切であるという理解の促進も重要となるため、自殺に関する啓発・周知や情報提供を進めます。

4 生きることの促進要因への支援

自殺対策は、自殺を未然に防ぐことが最も重要となります。

悩みや問題を抱える人が孤立することを防ぎ、地域や社会とのつながりや、地域や社会の中での自分の居場所や役割を持つことを支援することで、悩みや問題を一人で抱えてしまうことなく、まわりの人と悩みや問題を共有する機会の促進を図るための取り組みを進めます。

第4章 具体的な取組内容 笠置町編

1 地域における連携・ネットワークの強化

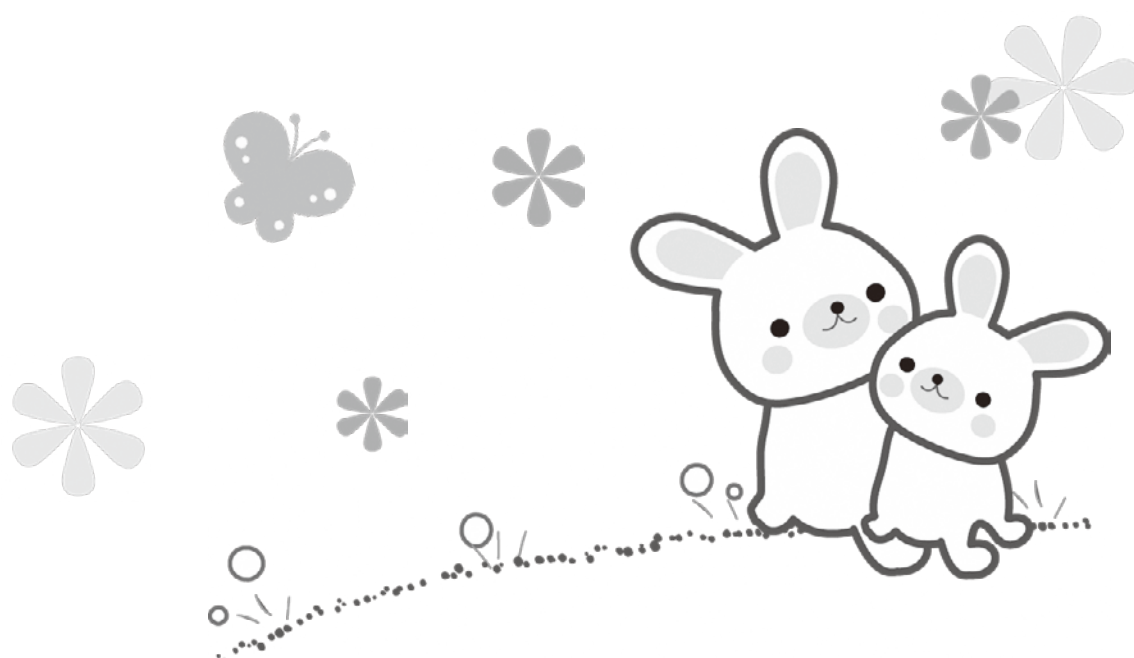
主な事業・取り組み		
各関係機関等との連携・情報共有の実施	担当課等	保健福祉課 人権啓発課 学校教育課 社会福祉協議会
<p>地域における関係機関、関係団体等との連携を図り、必要に応じて情報共有を行います。 【連携する関係機関等】 民生委員・児童委員、社会福祉協議会、自治体、病院、学校 等</p>		
要保護児童対策地域協議会の設置	担当課等	相楽東部広域連合総務課
<p>要保護児童対策地域協議会において、役場・児童相談所・学校等と情報共有や連携を図り、要保護児童等への適切な支援を行います。</p>		
ケース会議の実施	担当課等	関係各課
<p>地域における関係機関、関係団体等との情報共有を行う中で、必要に応じて個別ケースについての対応・対策を検討します。</p>		
包括的な支援ネットワークの確立	担当課等	関係各課
<p>地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターを活用し、関係各課における連携や情報共有を実施し、包括的な支援に繋がります。</p>		

2 相談体制の充実と人材の育成

主な事業・取り組み		
各種相談事業の実施	担当課等	保健福祉課 人権啓発課 総務財政課 税住民課 学校教育課 社会福祉協議会
各種相談事業を実施し、様々な悩み困りごとに対する相談を受け付け、必要に応じて適切な支援に繋がられるよう努めます。		
スクールカウンセラーによる 問診・相談支援の実施	担当課等	学校教育課
スクールカウンセラーによる問診や相談支援を行い、児童・生徒・保護者から問題や悩み等を伺います。さらに必要に応じて、各関係機関等と連携・情報共有し、適切な支援に繋がります。		
ゲートキーパー育成講座の実施	担当課等	保健福祉課
笠置町・和束町・南山城村合同で、京都府主催のゲートキーパー育成講座を実施します。また、その際に「話の聞き方講座」についても実施し、相談を受ける側の支援についても検討します。		
役場職員への研修の実施	担当課等	総務財政課
人権研修・スキルアップ研修・新人研修等、各職員の技能や役職等に応じた研修を実施します。		

3 住民に対する啓発・周知と情報提供

主な事業・取り組み		
啓発・周知に向けた情報発信の実施	担当課等	保健福祉課 人権啓発課 学校教育課 社会福祉協議会
ポスター掲示をはじめとした各種情報発信を行い、住民や児童・生徒等に対する啓発・周知を図ります。		
権利擁護講習会の開催	担当課等	社会福祉協議会
障害者に関する権利擁護についての講習会を、専門職を対象に年1回開催し、権利擁護についての情報発信と周知を図ります。		
自殺・健康に関する授業の実施	担当課等	学校教育課
京都府が主催する「生命のがん教育推進プロジェクト事業」を活用した、「生命の大切さ」についての学習を実施します。		
自殺対策強化月間・ 自殺予防週間における取り組み	担当課等	関係各課
国の行う取り組みと連携し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向けた取り組みを行います。		



4 生きることの促進要因への支援

主な事業・取り組み		
健康診断受診の促進	担当課等	保健福祉課
各種健康診断の受診率促進に努め、自身による健康増進を図るとともに、定期的な診断を促進します。また、健診費用の助成を行い、健康診断の負担軽減とさらなる受診率向上を図ります。		
スポーツの振興等による健康増進の推進	担当課等	保健福祉課 人権啓発課 生涯学習課 学校教育課
体操教室や健康教室といった日頃の健康増進と合わせ、スポーツ交流会等のイベントを開催し、スポーツの振興等による健康増進への働きかけを行います。		
生涯学習の推進	担当課等	人権啓発課 生涯学習課 学校教育課
生涯学習に関連する各種教室や講座を開催し、生きがいを持って生き生きと暮らすための支援を行います。		
居場所づくりの推進	担当課等	保健福祉課 人権啓発課 学校教育課 社会福祉協議会
子ども達や高齢者同士等の各所での集いの場の他、社会福祉協議会が行う誰でも参加可能な居場所づくりを行い、誰もが自分の居場所が持てる環境となるよう努めます。		
見守り・訪問活動の実施	担当課等	保健福祉課 人権啓発課 社会福祉協議会
必要に応じた各種訪問や安否確認、見守り活動を実施し、悩みや困りごとに対する早期発見・対応を図ります。		
いじめや不登校への対応の実施	担当課等	学校教育課
10代の自殺要因となり得るいじめに対する対策の実施や、不登校児への安否確認や状況把握に努めます。		

第5章 具体的な取組内容 和東町編

1 地域における連携・ネットワークの強化

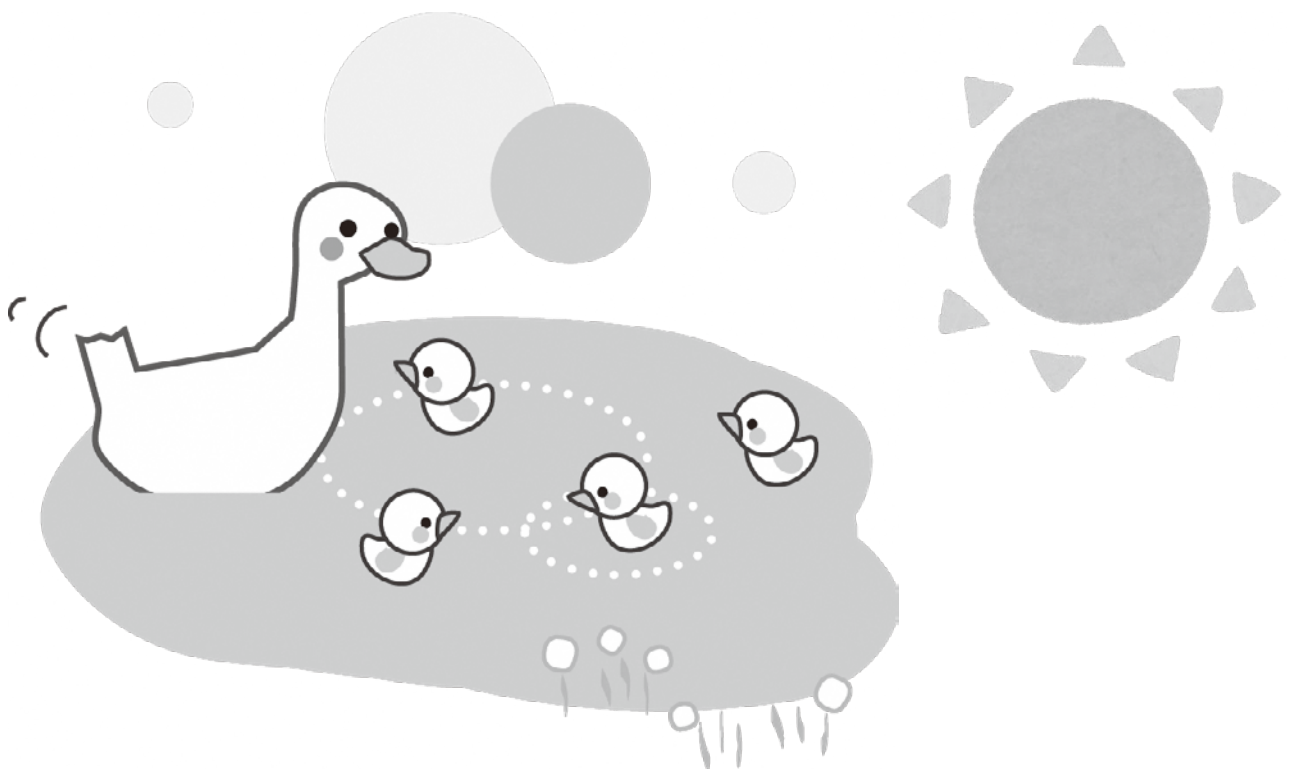
主な事業・取組み		
各関係機関等との連携・情報共有の実施	担当課等	福祉課 人権啓発課 学校教育課 社会福祉協議会
<p>地域における関係機関、関係団体等との連携を図り、必要に応じて情報共有を行います。 【連携する関係機関等】 民生委員・児童委員、社会福祉協議会、自治体、病院、学校 等</p>		
要保護児童対策地域協議会の設置	担当課等	相楽東部広域連合総務課
<p>要保護児童対策地域協議会において、役場・児童相談所・学校等と情報共有や連携を図り、要保護児童等への適切な支援を行います。</p>		
ケース会議の実施	担当課等	関係各課
<p>地域における関係機関、関係団体等との情報共有を行う中で、必要に応じて個別ケースについての対応・対策を検討します。</p>		
包括的な支援ネットワークの確立	担当課等	関係各課
<p>地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターを活用し、関係各課における連携や情報共有を実施し、包括的な支援に繋がります。</p>		

2 相談体制の充実と人材の育成

主な事業・取り組み		
各種相談事業の実施	担当課等	福祉課 人権啓発課 総務課 学校教育課 社会福祉協議会
各種相談事業を実施し、様々な悩み困りごとに対する相談を受け付け、必要に応じて適切な支援に繋がられるよう努めます。		
スクールカウンセラーによる 問診・相談支援の実施	担当課等	学校教育課
スクールカウンセラーによる問診や相談支援を行い、児童・生徒・保護者から問題や悩み等を伺います。さらに必要に応じて、各関係機関等と連携・情報共有し、適切な支援に繋がります。		
ゲートキーパー育成講座の実施	担当課等	福祉課
笠置町・和束町・南山城村合同で、京都府主催のゲートキーパー育成講座を実施します。また、その際に「話の聞き方講座」についても実施し、相談を受ける側の支援についても検討します。		
役場職員への研修の実施	担当課等	総務課
人権研修・スキルアップ研修・新人研修等、各職員の技能や役職等に応じた研修を実施します。		

3 住民に対する啓発・周知と情報提供

主な事業・取り組み		
啓発・周知に向けた情報発信の実施	担当課等	福祉課 人権啓発課 学校教育課 社会福祉協議会
ポスター掲示をはじめとした各種情報発信を行い、住民や児童・生徒等に対する啓発・周知を図ります。		
権利擁護講習会の開催	担当課等	社会福祉協議会
障害者に関する権利擁護についての講習会を、専門職を対象に年1回開催し、権利擁護についての情報発信と周知を図ります。		
自殺・健康に関する授業の実施	担当課等	学校教育課
京都府が主催する「生命のがん教育推進プロジェクト事業」を活用した、「生命の大切さ」についての学習を実施します。		
自殺対策強化月間・ 自殺予防週間における取り組み	担当課等	関係各課
国の行う取り組みと連携し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向けた取り組みを行います。また、自殺対策強化月間に合わせて、自殺対策に係る啓発冊子の全戸配布や啓発物品の窓口配布を実施し、さらなる啓発を実施します。		



4 生きることの促進要因への支援

主な事業・取り組み		
こころの体温計（メンタルヘルスチェックシステム）のホームページ掲載	担当課等	福祉課
町ホームページからパソコンやスマートフォンを利用しアクセスできる、ストレスチェックシステム「こころの体温計」を導入し、匿名で、誰でも気軽にストレスチェックできる環境を整えます。		
健康診断受診の促進	担当課等	福祉課 税住民課
各種健康診断の受診率促進に努め、自身による健康増進を図るとともに、定期的な診断を促進します。また、健診費用の助成を行い、健康診断の負担軽減とさらなる受診率向上を図ります。		
スポーツの振興等による健康増進の推進	担当課等	福祉課 人権啓発課 生涯学習課 学校教育課
体操教室や健康教室といった日頃の健康増進と合わせ、スポーツ交流会等のイベントを開催し、スポーツの振興等による健康増進への働きかけを行います。		
生涯学習の推進	担当課等	人権啓発課 生涯学習課 学校教育課
生涯学習に関連する各種教室や講座を開催し、生きがいを持って生き生きと暮らすための支援を行います。		
居場所づくりの推進	担当課等	福祉課 人権啓発課 学校教育課 社会福祉協議会
子ども達や高齢者同士等の各所での集いの場の他、社会福祉協議会が行う誰でも参加可能な居場所づくりを行い、誰もが自分の居場所が持てる環境となるよう努めます。		
見守り・訪問活動の実施	担当課等	福祉課 人権啓発課 社会福祉協議会
必要に応じた各種訪問や安否確認、見守り活動を実施し、悩みや困りごとに対する早期発見・対応を図ります。		
いじめや不登校への対応の実施	担当課等	学校教育課
10代の自殺要因となり得るいじめに対する対策の実施や、不登校児への安否確認や状況把握に努めます。		
就労環境の管理・改善に向けた取り組み	担当課等	人権啓発課
働く方の自殺対策として、就労環境の管理や改善に向けて、ハローワークとの連絡・調整を行います。		

第6章 具体的な取組内容 南山城村編

1 地域における連携・ネットワークの強化

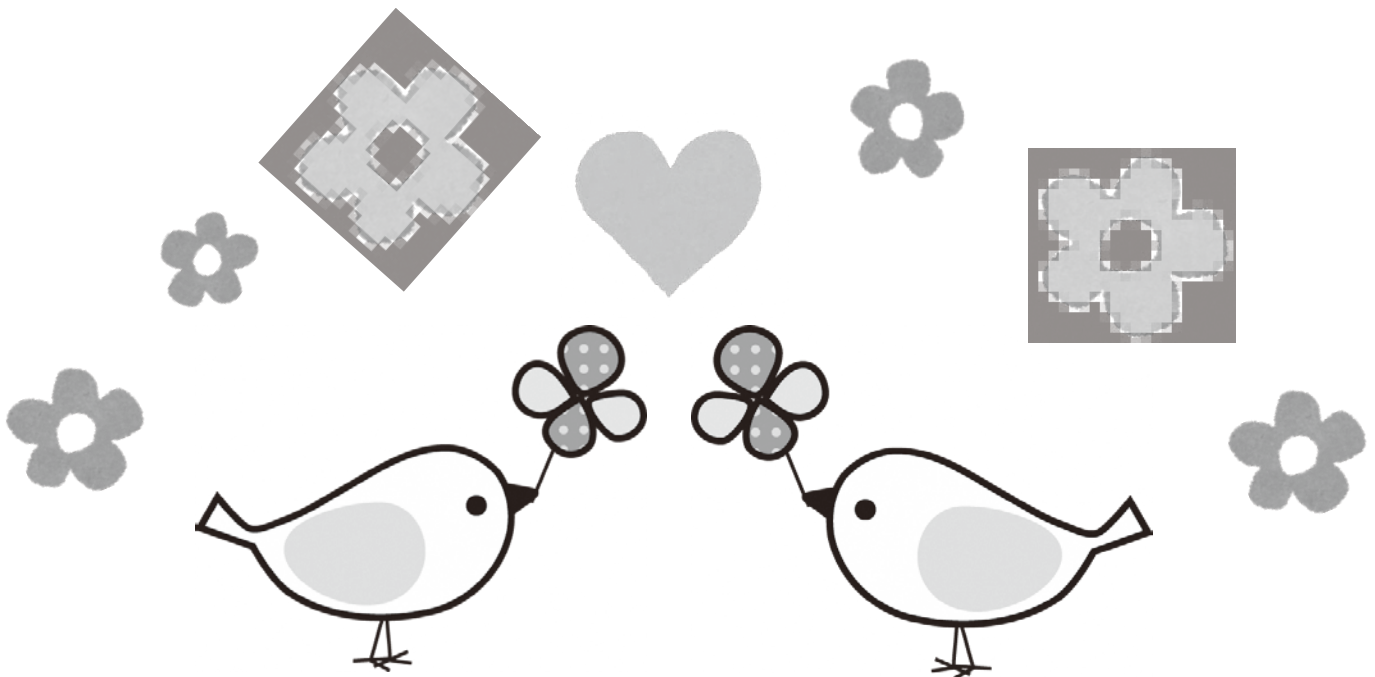
主な事業・取り組み		
各関係機関等との連携・情報共有の実施	担当課等	保健福祉課 学校教育課 社会福祉協議会
<p>地域における関係機関、関係団体等との連携を図り、必要に応じて情報共有を行います。</p> <p>【連携する関係機関等】</p> <p>民生委員・児童委員、社会福祉協議会、自治体、病院、学校 等</p>		
要保護児童対策地域協議会の設置	担当課等	相楽東部広域連合総務課
<p>要保護児童対策地域協議会において、役場・児童相談所・学校等と情報共有や連携を図り、要保護児童等への適切な支援を行います。</p>		
ケース会議の実施	担当課等	関係各課
<p>地域における関係機関、関係団体等との情報共有を行う中で、必要に応じて個別ケースについての対応・対策を検討します。</p>		
包括的な支援ネットワークの確立	担当課等	関係各課
<p>地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターを活用し、関係各課における連携や情報共有を実施し、包括的な支援に繋がります。</p>		

2 相談体制の充実と人材の育成

主な事業・取り組み		
各種相談事業の実施	担当課等	保健福祉課 総務課 学校教育課 社会福祉協議会
各種相談事業を実施し、様々な悩み困りごとに対する相談を受け付け、必要に応じて適切な支援に繋がられるよう努めます。		
スクールカウンセラーによる 問診・相談支援の実施	担当課等	学校教育課
スクールカウンセラーによる問診や相談支援を行い、児童・生徒・保護者から問題や悩み等を伺います。さらに必要に応じて、各関係機関等と連携・情報共有し、適切な支援に繋がります。		
ゲートキーパー育成講座の実施	担当課等	保健福祉課
笠置町・和東町・南山城村合同で、京都府主催のゲートキーパー育成講座を実施します。また、その際に「話の聞き方講座」についても実施し、相談を受ける側の支援についても検討します。		
役場職員への研修の実施	担当課等	総務課
人権研修・スキルアップ研修・新人研修等、各職員の技能や役職等に応じた研修を実施します。		

3 住民に対する啓発・周知と情報提供

主な事業・取り組み		
啓発・周知に向けた情報発信の実施	担当課等	保健福祉課 学校教育課 社会福祉協議会
ポスター掲示をはじめとした各種情報発信を行い、住民や児童・生徒等に対する啓発・周知を図ります。		
権利擁護講習会の開催	担当課等	社会福祉協議会
障害者に関する権利擁護についての講習会を、専門職を対象に年1回開催し、権利擁護についての情報発信と周知を図ります。		
自殺・健康に関する授業の実施	担当課等	学校教育課
京都府が主催する「生命のがん教育推進プロジェクト事業」を活用した、「生命の大切さ」についての学習を実施します。		
自殺対策強化月間・ 自殺予防週間における取り組み	担当課等	関係各課
国の行う取り組みと連携し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向けた取り組みを行います。		



4 生きることの促進要因への支援

主な事業・取り組み		
健康診断受診の促進	担当課等	保健福祉課
各種健康診断の受診率促進に努め、自身による健康増進を図るとともに、定期的な診断を促進します。また、健診費用の助成を行い、健康診断の負担軽減とさらなる受診率向上を図ります。		
スポーツの振興等による健康増進の推進	担当課等	保健福祉課 生涯学習課 学校教育課
体操教室や健康教室といった日頃の健康増進と合わせ、スポーツ交流会等のイベントを開催し、スポーツの振興等による健康増進への働きかけを行います。		
生涯学習の推進	担当課等	生涯学習課 学校教育課
生涯学習に関連する各種教室や講座を開催し、生きがいを持って生き生きと暮らすための支援を行います。		
居場所づくりの推進	担当課等	保健福祉課 学校教育課 社会福祉協議会
子ども達や高齢者同士等の各所での集いの場の他、社会福祉協議会が行う誰でも参加可能な居場所づくりを行い、誰もが自分の居場所が持てる環境となるよう努めます。		
見守り・訪問活動の実施	担当課等	保健福祉課 社会福祉協議会
必要に応じた各種訪問や安否確認、見守り活動を実施し、悩みや困りごとに対する早期発見・対応を図ります。		
いじめや不登校への対応の実施	担当課等	学校教育課
10代の自殺要因となり得るいじめに対する対策の実施や、不登校児への安否確認や状況把握に努めます。		

笠置町・和束町・南山城村自殺対策計画策定委員会委員名簿

(順不同／敬称略)

(◎：会長 ○：副会長)

	氏名	所属等	備考
1	政 所 美 希	笠置町保健福祉課 保健師	
2	田 島 美 幸	和束町福祉課 保健師	
3	下 村 恵	南山城村保健福祉課 保健師	
4	松本 佳恵子	笠置町社会福祉協議会 事務局長	
5	山下 貴志	和束町社会福祉協議会 事務局長	
6	○ 末 廣 睦	南山城村社会福祉協議会 事務局長	
7	◎ 大西 篤司	笠置町民生児童委員協議会 会長	
8	大西 重孝	和束町民生児童委員協議会 会長	令和元年 11月1日～ 令和元年 11月30日
9	荒木 寿美子		令和元年 12月1日～ 令和2年 3月31日
10	福川 昭男	南山城村民生児童委員協議会 会長	
11	前 田 潤	山城南保健所 福祉室 室長	
12	東 達 廣	笠置町 保健福祉課 課長	
13	北 広 光	和束町 福祉課 課長	
14	田 中 智	南山城村 保健福祉課 担当課長	

任期：令和元年 11月1日～令和2年 3月31日

いのちの輝き見守りプラン

令和2年3月

編集・発行：笠置町 保健福祉課・和束町 福祉課・南山城村 保健福祉課

笠置町役場

〒619-1393 京都府相楽郡笠置町大字笠置小字西通 90-1

TEL：0743-95-2301 FAX：0743-95-3021

和束町役場

〒619-1295 京都府相楽郡和束町大字釜塚小字生水 14-2

TEL：0774-78-3006 FAX：0774-78-2799

南山城村役場

〒619-1411 京都府相楽郡南山城村大字北大河原小字久保 14-1

TEL：0743-93-0104 FAX：0743-93-0444

